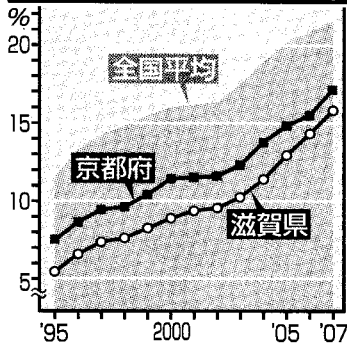


地震保険 京滋で加入急増

地震保険の世帯加入率



滋はこれまで、危険度が最も高い東京都などの「4等地」に次ぐ「3等地」だった。

12% 17%



地震保険の契約が京都府と滋賀県で伸びている。阪神大震災や新潟県中越地震などの被害を目的にしたりした上、京滋で二〇〇七年十月から保険料がほぼ半額になったためとみられる。値下げから昨年十月の間の伸び率は、滋賀が前年同期に比べ17%増で全国三位、京都も12%増で八位だった。

「地震保険は保険料が高いというイメージがあったが、値下げで顧客にも勧めやすくなった」。京都損害保険代理業協会の役員は口をそろえる。

保険料は、地震の危険度を基に各都道府県を四段階に分けて算出している。京

阪神、中越… 等級見直しで半額後押し

地震保険 地震や地震に伴う火災などの損害が火災保険で補償されないため、これらの補償を希望する人が任意加入する。保険会社と政府が共同運営し、どの保険各社でも保険料は同じ。建物全損は保険金額（契約金額）の全額、半損は50%、一部損は5%が補償される。

た。しかし、より精密な予測値を基に算出し直した結果、京滋はともに「2等地」に下がり、〇七年十月に保険料が安くなった。

補償額を一千万円に設定した場合、年間の保険料は木造住宅で二万三千五百円から一万二千七百円に、非木造住宅は一万三千五百円から六千五百円にそれぞれ引き下げられた。

地震保険は火災保険とセットでしか加入できない。火災保険の新規契約者のうち地震保険にも入った人の割合は、〇七年度では京都が31%（前年度比4%増）、滋賀が34%（同4.6%増）に達し、京滋とも初めて三割を超えた。

世帯加入率も、阪神大震災以降で二倍以上に増えている。表。ただ、昨年度の全国平均（21%）に比べると依然低く、京都の17%と滋賀の15%は全国トップの宮城県（29%）の約半分だ。

京都損害保険代理業協会は「保険料は建物の耐震性能が高いと割引になる。保険料に応じて一定額が所得の課税対象額から控除される税制上の利点もPRして、さらに加入を促したい」としている。